

子どもの権利に関するアンケート結果

1、実施対象

子ども	市内全小中学校の児童生徒、市内2つの高校の生徒
大人	上記子どもの保護者、幼稚園・保育園の園児の保護者、子ども食堂関係者 児童健全育成市民会議関係者、母子寡婦福祉会関係者、フリースクール関係者 等

2、実施期間

子ども ; 令和4年6月7日～6月30日
大人 ; 令和4年6月17日～7月28日

3、回答率

		依頼数	有効回答数	回答率
子ども	小学生	6,079	5,150	84.7%
	中学生	2,937	2,444	83.2%
	高校生	1,515	738	48.7%
	小計	10,531	8,332	79.1%
大人	小中の保護者	9,016	1,994	22.1%
	高校の保護者	1,515	395	26.1%
	その他市民	3,156	733	23.2%
	小計	13,687	3,122	22.8%
総計		24,218	11,454	47.3%

4、アンケートの種類

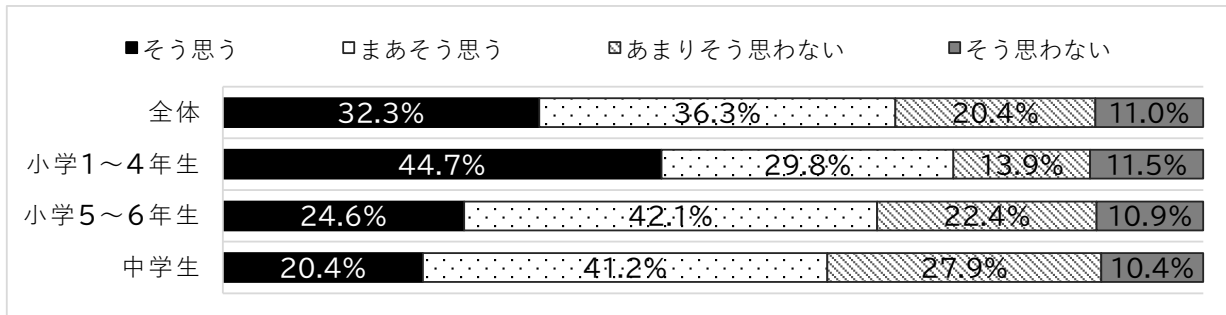
学齢や属性毎に4種類のアンケートを準備し実施。

子ども	①小1～4年、②小5～中学生、③高校生
大人	④1種類のアンケートで実施

5、アンケート結果

設問 あなたは、自分のことが好きですか。(①②対象)

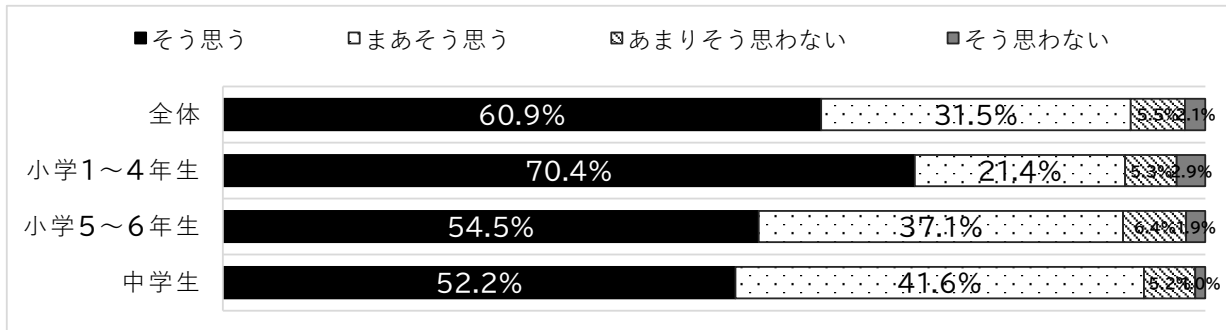
	小学1～4年生	小学5～6年生	中学生	全体
そう思う	1,524	429	499	2,452
まあそう思う	1,015	735	1,008	2,758
あまりそう思わない	475	390	683	1,548
そう思わない	393	190	254	837



「そう思う」「まあそう思う」が全体で7割を割っており、児童生徒がなんらかの悩みを持つ事が推測される。ありのままの自分で良いと自己肯定感を高める必要を感じる。

設問 家族や周りの人から大切にされていると思いますか。(①②対象)

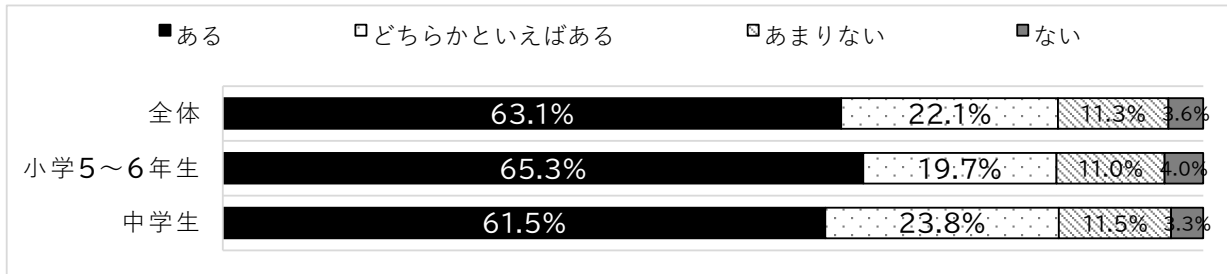
	小学1～4年生	小学5～6年生	中学生	全体
そう思う	2,399	951	1,275	4,625
まあそう思う	730	647	1,016	2,393
あまりそう思わない	179	112	128	419
そう思わない	99	34	25	158



「そう思う」「まあそう思う」がいずれも9割を超えており、家族や周りの人の愛情を理解できている反面、「そう思わない」児童生徒が2%ほどいる。

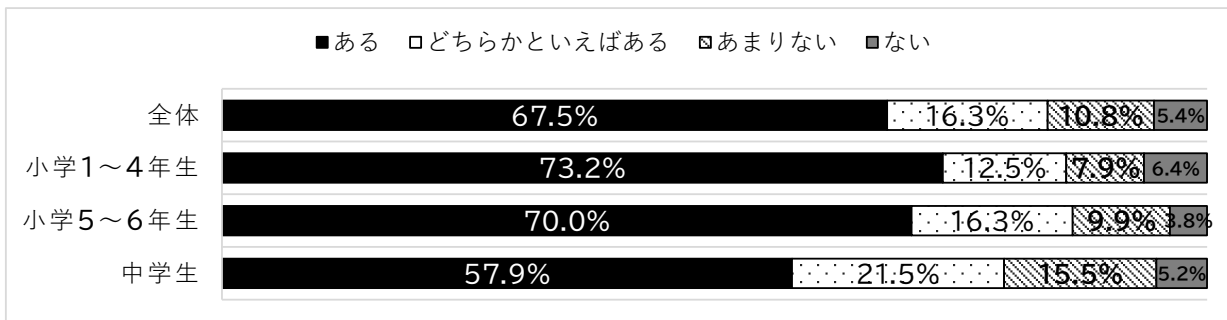
設問 あなたは今、やってみたいことがありますか。(②対象)

	小学5～6年生	中学生	全体
ある	1,139	1,502	2,641
どちらかといえばある	344	582	926
あまりない	192	280	472
ない	69	80	149



設問 将来やってみたいことがありますか。(①②対象)

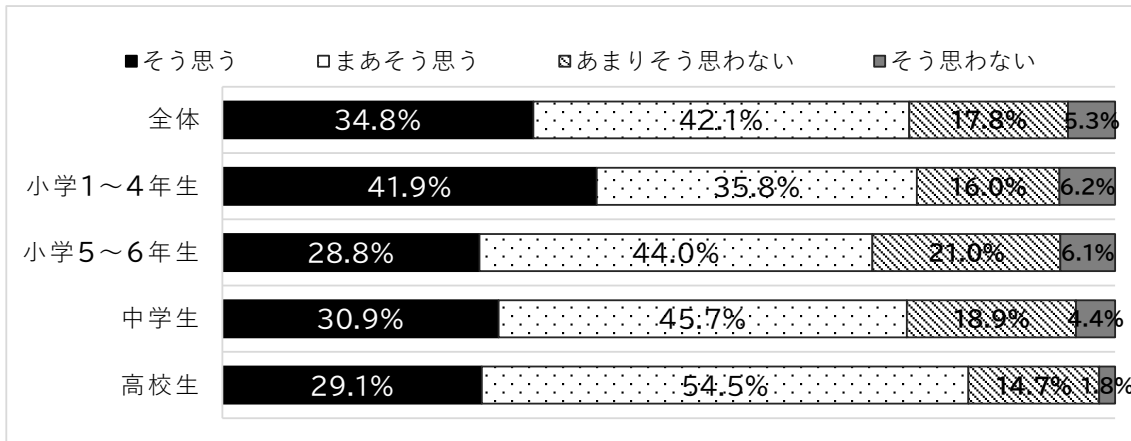
	小学1～4年生	小学5～6年生	中学生	全体
ある	2,493	1,221	1,414	5,128
どちらかといえばある	427	285	526	1,238
あまりない	269	172	378	819
ない	218	66	126	410



今や将来やってみたいことが「ある」「どちらかといえばある」と回答した児童生徒が8割を超えている。様々な体験等をする機会を持つ事が必要と考える。

設問 自分の考えを相手に伝えることができますか。(①②③対象)

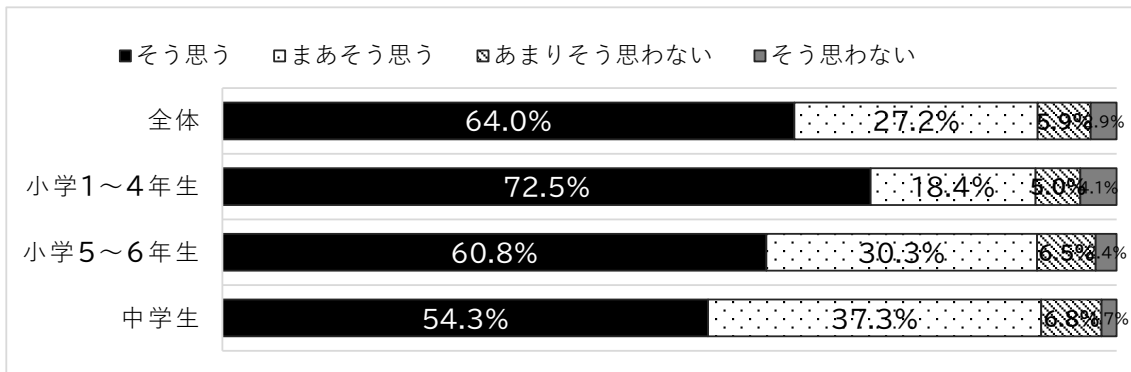
	小学1～4年生	小学5～6年生	中学生	高校生	全体
そう思う	1,429	502	756	214	2,901
まあそう思う	1,221	768	1,118	401	3,508
あまりそう思わない	545	367	463	108	1,483
そう思わない	212	107	107	13	439



高校生の8割以上は自分の考えを相手に伝えることができているが、小中学生は4人に1人が伝えることができていない状況にある。伝え方を含め、伝えることの大事さを学ぶ必要があると考える。

設問 毎日楽しく過ごしていますか。(①②対象)

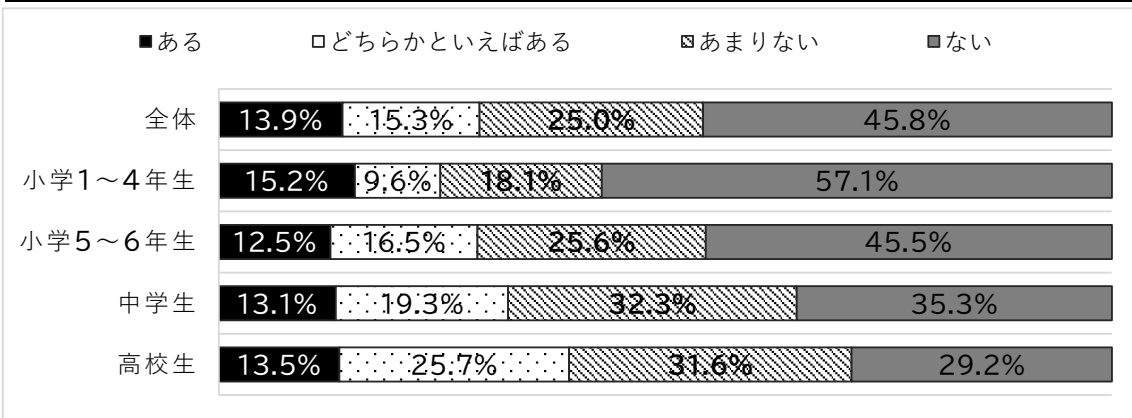
	小学1～4年生	小学5～6年生	中学生	全体
そう思う	2,470	1,061	1,327	4,858
まあそう思う	628	528	911	2,067
あまりそう思わない	171	114	165	450
そう思わない	138	41	41	220



毎日が楽しいと「そう思う」「まあそう思う」と回答した児童生徒が9割を超えている。しかし、中学生になるにつれ「そう思う」が低下している。

設問 今、困っていること、つらいと感じることはありますか。(①②③対象)

	小学1~4年生	小学5~6年生	中学生	高校生	全体
ある	515	218	320	99	1,152
どちらかといえばある	324	287	472	189	1,272
あまりない	611	446	790	232	2,079
ない	1,932	793	862	214	3,801

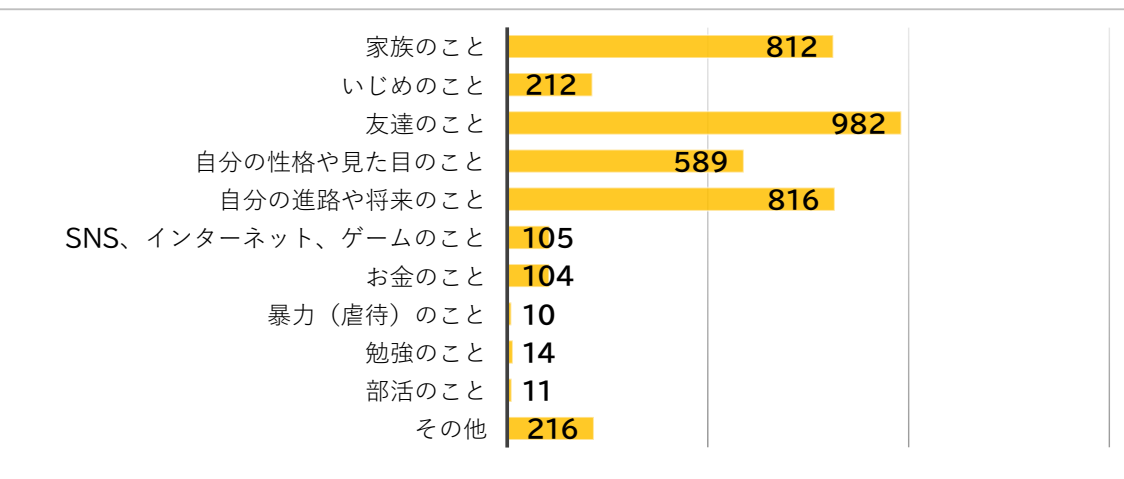


設問 困っていることやつらいと感じることは何ですか。(①②③対象) [複数回答]

	小学1~4年生	小学5~6年生	中学生	高校生	全体
家族のこと	383	149	211	69	812
いじめのこと	178	20	6	8	212
友達のこと	319	267	284	112	982
自分の性格や見た目のこと		170	280	139	589
自分の進路や将来のこと		103	324	389	816
SNS、インターネット、ゲームのこと		21	48	36	105
お金のこと		14	31	59	104
暴力(虐待)のこと		6	3	1	10
勉強のこと			9	5	14
部活のこと			8	3	11
その他	88	101	127	18	334

※その他の記述

小学1~4年生	勉強のこと、友達のこと、習い事のこと、からだのこと 等
小学5~6年生	習い事のこと、からだのこと 等
中学生	学力のこと、学校のこと、成績のこと、習い事のこと 等
高校生	部活のこと、勉強のこと、成績のこと 等

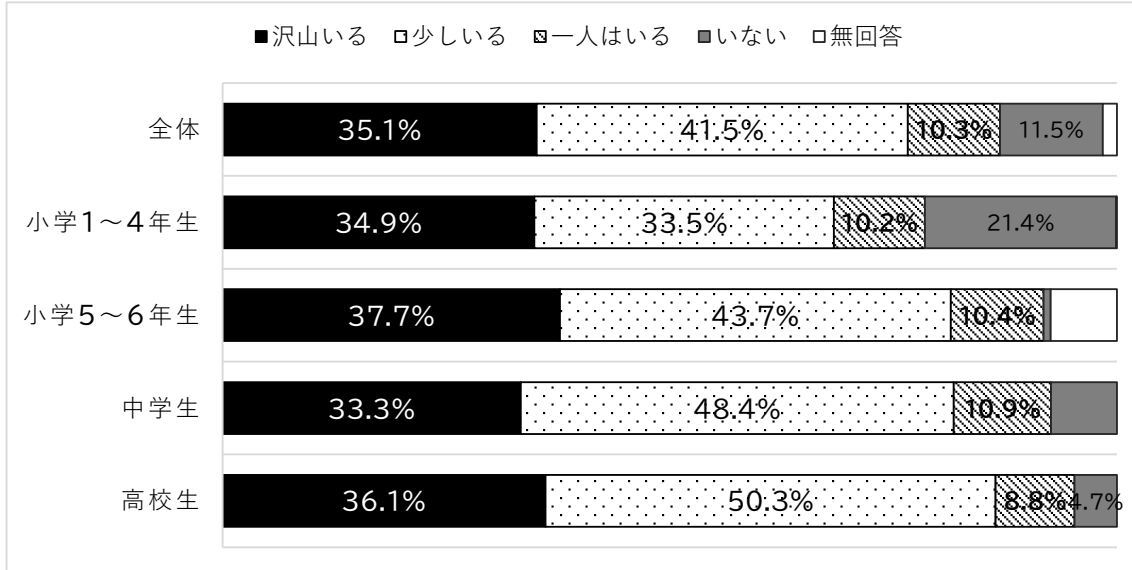


今、困っていることやつらいことが「ある」「どちらかといえばある」と回答した児童生徒が3割程度おり、年齢が上がる毎に割合が増えている。その内容も自分の進路や将来のことが増えている。

設問

困っていることやつらいと感じていることを相談できる人はいますか。
(①②③対象)

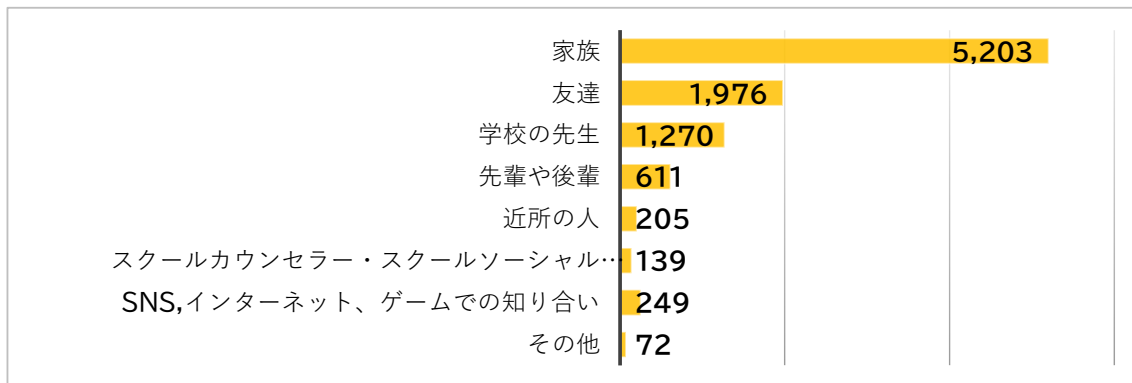
	小学1~4年生	小学5~6年生	中学生	高校生	全体
沢山いる	1,188	658	815	266	2,927
少しいる	1,141	762	1,183	371	3,457
一人はいる	347	181	266	65	859
いない	728	14	180	35	957
無回答	3	129	0	0	132



設問

相談できる人がいる、少しはいると答えた人は教えてください。
それは誰ですか。(①②③対象) [複数回答]

	小学1~4年生	小学5~6年生	中学生	高校生	全体
家族	2,271	1,085	1,387	460	5,203
友達	525	294	561	596	1,976
学校の先生	124	435	592	119	1,270
先輩や後輩		106	373	132	611
近所の人		85	100	20	205
スクールカウンセラー・ スクールソーシャルワーカー			82	57	139
SNS, インターネット、ゲームで の知り合い			164	85	249
その他	32	22	13	5	72

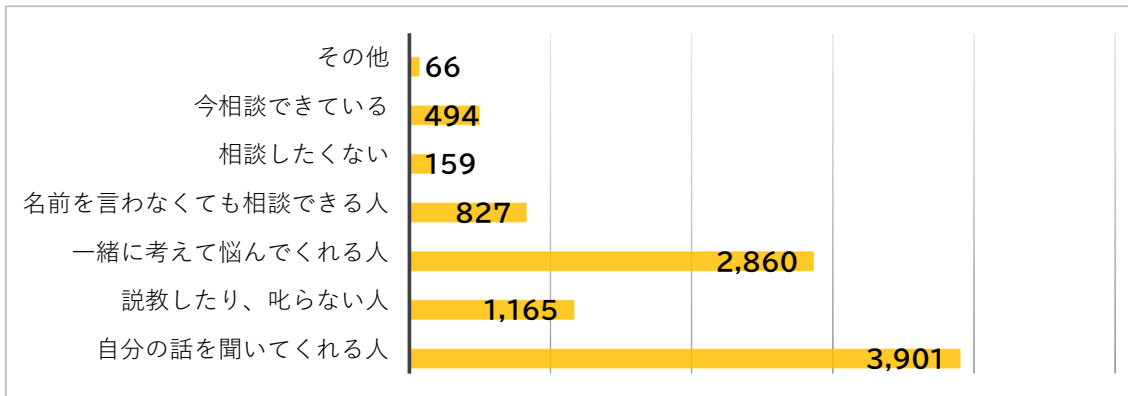


9割の児童生徒が、相談できる人がいるとし、その相手は、家族や友達がしめる。一方、相談できる人がいないと回答した児童生徒もあり、相談できる環境を作る必要がある。

設問

もし相談するとしたら、どんな人なら相談できますか
(②③対象) [複数回答]

	小学5～6年生	中学生	高校生	全体
自分の話を聞いてくれる人	1,387	1,945	569	3,901
説教したり、叱らない人	338	641	186	1,165
一緒に考えて悩んでくれる人	1,024	1,330	506	2,860
名前を言わなくても相談できる人	306	397	124	827
相談したくない	84	0	75	159
今相談できている	0	91	403	494
その他	25	39	2	66

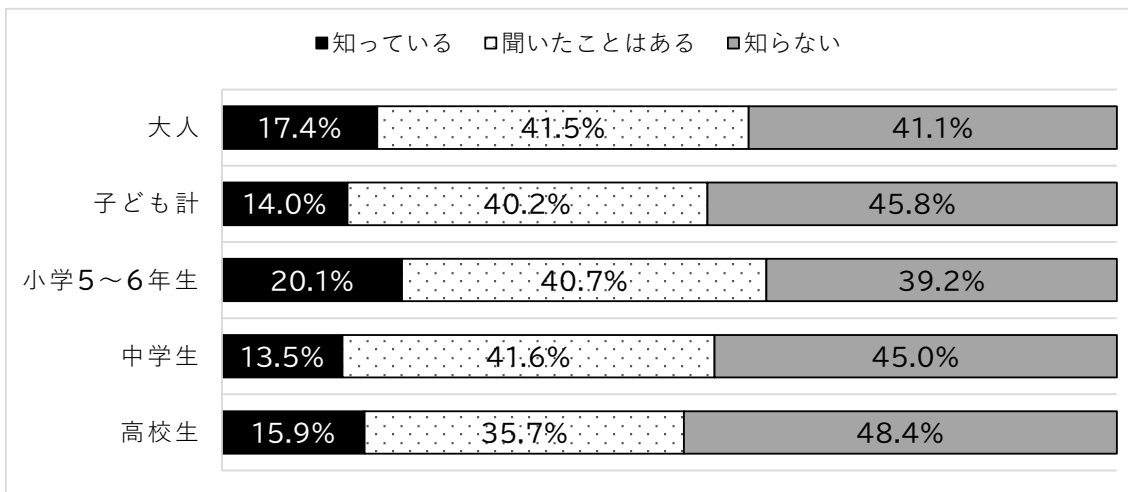


相談相手は、「自分の話を聞いてくれる人」の回答が最も多い。中でも、中学生が最も多く回答。今後、身近で相談できる環境を整える必要がある。

設問

子どもの権利を知っているか (②③④対象)

	小学5～6年生	中学生	高校生	子ども計	大人
知っている	351	329	117	680	543
聞いたことはある	710	1,016	262	1,726	1,297
知らない	683	1,099	355	1,782	1,286



子どもの権利の認知度は、「知っている」と回答した人が、子どもも大人も2割に満たないことから低いと考える。まず、子どもに権利があることを知ることが必要であるため、認知度向上の取組が必要である。

設問

子どもの権利には、次のようなものがあります。あなたが特に大切だと思うものを教えてください。（②③④対象）〔複数回答〕

		小学5～6年	中学生	高校生	子ども計	大人
生きる権利	命が守られ、平和及び安全な環境のもと育つこと	1,467	2,089	651	4,207	3,031
	人からたたかれたり、ひどい目にあわされたりしないこと	1,106	1,640	527	3,273	2,374
	国のちがいや、男と女か、障がいがあるかないかなどによって差別されないこと	1,239	1,842	602	3,683	2,348
育つ権利	子どもであることを理由に、大人から無視されたり、差別されないこと	1,148	1,638	606	3,392	2,435
	自分が学習したいとおりに学び、成長すること	1,015	1,509	600	3,124	2,320
	スポーツや芸術を楽しむ活動に参加すること	964	1,406	512	2,882	1,934
守られる権利	子どもにとって1番良いことは何かを考えてくれること	1,018	1,412	524	2,954	2,119
	悪口を言われたり、仲間はずれにされないこと	1,252	1,711	538	3,501	1,975
	愛されて幸せな生活を送ること	1,234	1,836	633	3,703	2,157
参加する権利	自分の意見を自由に言えること		1,860	642	2,502	2,362
	子どもはお互いに認め合い、一緒に活動するために集まったりできること		1,457	568	2,025	2,088
	社会に参加するため、必要な手助けをしてもらえること		1,506	553	2,059	2,067



子どもも大人も「生きる権利」や「育つ権利」を多く挙げたが、「守られる権利」と「参加する権利」に子どもと大人で認識の違いが表れた。守られる側と守る側の違いが生じたものと思われる。

設問

あなたが現在、子どもの権利の中で尊重されていないと思うものを教えてください。（④対象）〔複数回答〕

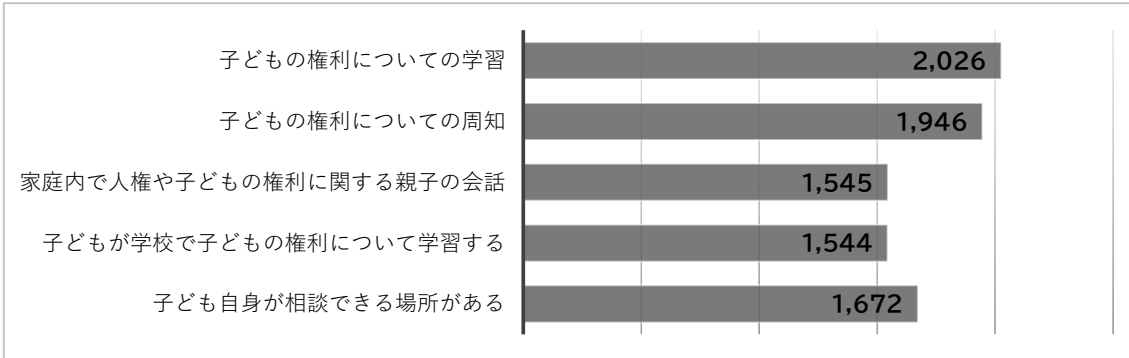
		尊重されていない と思う	〔参考〕 特に大切と思う
生きる権利	命が守られ、平和及び安全な環境のもと育つこと	781	3,031
	人からたたかれたり、ひどい目にあわされたりしないこと	733	2,374
	国のちがいや、男と女か、障がいがあるかないかなどによって差別されないこと	711	2,348
育つ権利	子どもであることを理由に、大人から無視されたり、差別されないこと	745	2,435
	自分が学習したいとおりに学び、成長すること	775	2,320
	スポーツや芸術を楽しむ活動に参加すること	490	1,934
守られる権利	子どもにとって1番良いことは何かを考えてくれること	999	2,119
	悪口を言われたり、仲間はずれにされないこと	833	1,975
	愛されて幸せな生活を送ること	584	2,157
参加する権利	自分の意見を自由に言えること	942	2,362
	子どもはお互いに認め合い、一緒に活動するために集まったりできること	627	2,088
	社会に参加するため、必要な手助けをしてもらえること	711	2,067



「生きる権利」については、大切と思ううえで、尊重されているという結果が出た。「守られる権利」については、尊重されていないと思う反面、大切だという認識が低い。

設問 子どもの権利を守るにあたって、必要だと思うことは。(④対象) [複数回答]

子どもの権利についての学習	2,026
子どもの権利についての周知	1,946
家庭内で人権や子どもの権利に関する親子の会話	1,545
子どもが学校で子どもの権利について学習する	1,544
子ども自身が相談できる場所がある	1,672

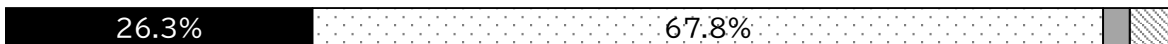


今後の取り組みについては、学習や周知、相談機関の設置等を必要と思うとの意見が多かった。子どもの権利の認知度向上を含め実施する必要がある。

設問 あなたは普段から子どもの権利を尊重していますか。(④対象)

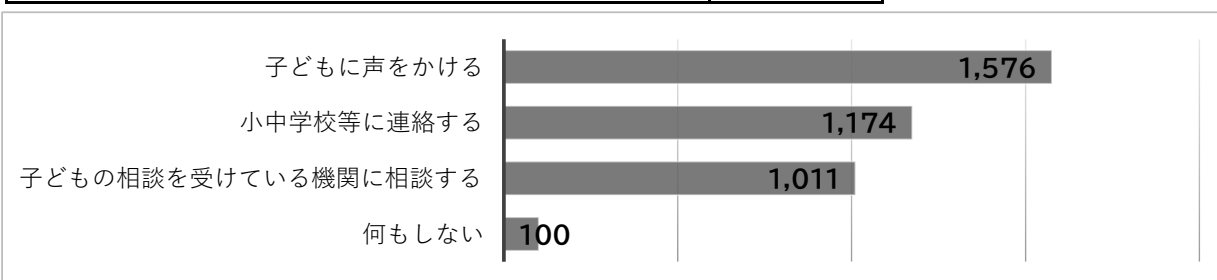
尊重している	822
ある程度尊重している	2,116
あまり尊重していない	71
尊重する必要を認めない	1
子どもの権利について考えたことがない	113

- 尊重している
- ある程度尊重している
- あまり尊重していない
- 尊重する必要を認めない
- 子どもの権利について考えたことがない



設問 あなたの周りで困っている子ども（子どもの権利の侵害を受けているなど）見かけた場合、あなたならどうしますか。(④対象) [複数回答]

子どもに声をかける	1,576
小中学校等に連絡する	1,174
子どもの相談を受けている機関に相談する	1,011
何もしない	100



糸島市の大人は、「困っている子どもがいたら声をかける」回答が1番多い。「何もしない」回答も一定率みられるため、子どもの権利を周知することで改善につなげたい。